

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	佐賀県、伊万里市	地域再生計画名	伊万里木材コンビナートを核とした地域活性化計画				
計画期間	令和４年度～令和８年度	評価責任者	佐賀県伊万里農林事務所 所長 松尾 淳也、伊万里市役所 建設農林水産部長 吉永 大輔						

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績		基準年度			指標 総数	達成 数		
	目標 1	森林整備の促進	10ha	R3	30ha	R6	36ha	42ha	R8	○				林道整備により森林へのアクセスが容易になったことから森林施業が促進され、中間目標値を達成することが出来た。 最終年度に向けて事業者と連携し、今後の更なる森林施業の実施を図りたい。
	目標 2	地域産材活用の促進	600m3	R3	1,750m3	R6	6,942m3	2,520m3	R8	○	3	3		林道整備の効果により、森林施業が促進され、中間目標値を超過達成することが出来た。 引き続き林道整備を進めて、森林施業、森林整備の促進を図りたい。
	目標 2	地域雇用の創出	312人	R3	334人	R6	348人	348人	R8	○			森林施業を促進する林道の整備により、伐期を迎えた林分の搬出作業や林業機械の運用が効率化し、現場作業の需要が増加した。その結果、林業関連の雇用機会が拡大し、地域企業の人員配置が進んだ。 今後も一体整備を継続し、安定的な雇用と地域経済の持続的成長を目指したい。	

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (R7)	最終実績 見込み	
特別措置を適用して行 う事業	林道整備事業（整備延長）	6.000km	3.637km	4.940km	今回の林道整備により、森林資源の搬出・作業を円滑にするための通行性の確保が出来たことから、森林施業が促進されたと考える。 二路線の早期開設に向けて、引き続き林道整備を進めていきたい。
	市道整備事業（整備延長）	0.500km	0.217km	0.500km	今回の市道整備により、交通の円滑化、利便性の向上、地域集落の生活環境の改善を図り、地域の安全安心に寄与することが出来た。引き続き残る区間の市道整備を進めて いきたい。
その他の事業					
計画外で独自に実施し た事業	森林環境保全整備事業	森林経営計画の認定を受けた実施主体に対し、 森林作業道の路網整備に係る経費の補助を実施			経費の補助を実施することにより、実施主体の負担が軽減され、森林整備の促進、林業経営の安定化につなげることが出来た。
	保安林改良事業	路網の未整備により着手困難であった保安林に ついて本数調整伐等を実施			搬出間伐等の木材生産を推進したため、事業実施を見送った。
	伊万里産木材利用促進事業	森林所有者を対象に森林整備等により発生する 間伐材等の搬出にかかる経費の補助を実施			間伐材等の伐採木について搬出補助を行うことで、森林所有者の負担が軽減され、林業経営の安定化が図られ、森林整備の促進につなげることが出来た。
	橋梁長寿命化修繕事業（橋梁管理事 業）	市道の橋梁の長寿命化計画を策定し、計画的に 橋りょうの補修等を実施			老朽化した橋梁の長寿命化を行い、道路施設の安全確保につなげることが出来た。

③評価方法	中間評価委員会を開催し、中間目標値の達成状況に関する評価・検討を行った。		
④中間評価の公表方法	伊万里市のホームページに掲載		
⑤計画全体の総合評価	本計画は、林道と市道を一体整備することで森林施業の促進と防災基盤の強化、地域産業の活性化を図る点で価値が高く、長期的な地域再生に寄与する潜在力を有していると考えられる。 中間年度の実績は指標１（森林整備）、指標２（素材生産）、指標３（地域雇用）全てにおいて一定程度の進捗が見られ、目標値を達成することが出来た。これは、林道整備による森林へのアクセスが容易になったことや、森林環境保 全整備事業及び伊万里産木材利用促進事業の効果による森林整備関係者への負担軽減が図られたことが森林整備の促進につながり、森林施業が加速されたものと評価している。 特に、指標２（素材生産）については基準値から大幅に増加させることが出来たことから、林道整備事業や伊万里産木材利用促進事業の効果性が非常にあったものと考えており、最終年度に向けて、継続して事業を進めていきたい。		
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況		有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し（有・無）		
	令和９年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円		
⑦今後の方針等に対する 対応	●事業の新規計画の認定申請を予定 ・森林施業の促進と素材生産の安定化を目指し、林道烏帽子岳線と林道二里・下分線の早期整備を優先するとともに、市道整備も展開し、長寿命化と防災機能を兼ね備えた道路網の整備を進めていく。 ・加えて、伊万里木材コンビナート関連企業間の市場連携を強化し、伐採材の搬出を支援して地域産業を活性化することにより、地域雇用の創出を持続させ、林業担い手の確保及び育成を図っていく。 ・引き続き地方創生道整備推進交付金を活用し、林道整備および市道整備を一体的に実施し、地域活性化の基盤となる道づくりを推進していく。 ・道路整備を行ったことにより、地域間のネットワークが強化され、目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況が若干遅れていることから、新たに事業期間を５年とした計画を立て路線の早期完成を図る。		